

## 高松市環境学習活動事業補助金実施状況（平成 26 年度）

事業名	提案団体	取組概要
ほたるの飼育を通じて自然環境の保全を考えよう	きすい会 環境ほたる会	ほたるを幼虫から成虫になるまで飼育、観察することにより、自然環境保全の大切さを知ってもらうため、今年度ほたるの幼虫飼育を中心に活動を行った。 また、ほたるの飼育にあわせ、小学校の児童と協力して収穫した麦わらを使ったほたる籠作りの講座を、市民を対象として実施し、自然の素材を生かした物づくり体験を行った。
里山～里海、親子で巡る水辺のたんけん隊	高松市消費者団体連絡協議会	親子で塩江の森を中心に香東川の水辺に潜む生き物や水質の調査等の体験学習や地球温暖化についてのワークショップ等を通じて、環境保全の大切さについて理解を深める活動を行った。また、ごみの減量やリサイクルなど資源を大切にすることへの意識の向上、循環型社会生活への関心を高めるため、南部クリーンセンター等の資源処理場の施設見学やエコ工作を行った。
環境教育リーダー養成講座「楽しく学んで実践力を高めよう」の開催	かがわ環境カウンセラー協議会	市民向けの環境教育リーダー養成講座を高松市環境保全推進課分室（旧環境プラザ）にて三日間実施した。分かり易く、すぐに活用できるよう体験形式を中心とした講座を行った。また、様々な講師による講座や気象庁等との連携を行い、多方面から学べる講座となり、環境教育に対する理解と地球温暖化防止活動に対する啓蒙普及を図ることができた。
山村に残る循環型エネルギーづくりの技術を受け継ごう 本物の炭焼き釜で作る木炭作り	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	小学生とその家族を対象に募集をし、塩江の山林等にて講座を行った。山の木を切るところから炭が焼きあがるまでの作業を実体験することで、基礎的な自然エネルギーの製法を学ぶ活動を行った。また、自然エネルギーが使われていた昭和の時代を振り返る講義もあわせて行い、今後には生かせる省エネルギー、循環可能エネルギーのことについて関心を持ってもらう活動となった。

## 高松市環境学習活動事業補助金実施状況（平成 27 年度）

事業名	提案団体	取組概要
<p>ほたるの飼育とほたるを見る夕べ、ほたる観賞会を開催</p>	<p>きすい会 環境ほたる会</p>	<p>小学4年生を対象に、毎年自然環境学習の一環として、ほたるの飼育に関わる活動を支援しており、他の一般市民に対しても、1年間を通じてほたるを育て上げた成果を広く知ってもらうとともに、直にほたると接することで自然環境を守ることの大切さを実感、再認識してもらうことを目的とした鑑賞会を実施した。</p>
<p>環境教育リーダー養成講座「市民が環境リーダーになるためのわかりやすい市民塾」の開催</p>	<p>かがわ環境カウンセラー協議会</p>	<p>環境活動に関心がある、また周りの人たちや学校などでそれらを伝える実践力を身に付けたいと考えている人を対象とした「環境リーダー」の養成講座を実施した。環境省、香川県、高松市、三木町等の自治体とも連携して講座を実施することで、県産品への理解と地球温暖化防止活動の理解を深め、更に環境リーダーとしての実践力の向上を図った。</p>

## 高松市環境学習活動事業補助金実施状況（平成 28 年度）

事業名	提案団体	取組概要
直にほたると接しよう、高松市民とほたるを見る夕べ	きすい会 環境ほたる会	ほたるの幼虫の飼育も起動に乗り、多くのほたるが育つようになった。一般市民に向けて、直にほたると接することで自然環境を守ることの大切さを実感、再確認してもらうことを目的として、イオンモール高松で「ほたるを見る夕べ」のイベントを開催した。
「森のつみ木広場」インストラクター養成講座	オイスカ高松推進協議会	オイスカでは、間伐材で作ったつみ木で子どもたちが遊ぶ「森のつみき広場」の実施により、森林の有効利用に対する意識啓発を行っている。補助事業においては、「森のつみ木広場」を実施するインストラクターを養成する講座を実施した。インストラクターを養成するにあたり、環境教育、オイスカ活動等に関する勉強会、実施方法のレクチャー、「森のつみ木広場」模擬実演等を行った。
わくわく自然体験 2016	特定非営利活動法人 自然塾ぴょんぴょん	身近な公園の地域資源を活かした環境教育を通じて自然への気付きを得る。また、その自然を直接体験するためにネイチャーゲームの手法を取り入れて実践することにより、子どもたち自身が自然と一体になり生きていることを実感することを目的とした。新任保育者を含めた研修としての位置付けもある。
モモの広場環境教室	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	自然環境豊かな奥塩江「モモの広場」を活用し、「竹うちわ」や「炭」の製作体験等を通じて、省エネや循環型エネルギーの理解を深め、持続可能社会への継続的な実践意欲のきっかけづくりを行った。川遊び、紙しばい、講義、意見交換を一連のプログラムとし、参加者を募集して竹うちわづくりを1日間、炭焼き体験を2日間行った。

## 高松市環境学習活動事業補助金実施状況（平成 29 年度）

事業名	提案団体	取組概要
高松市環境学習活動事業 （ほたるの一生、ほたるの幼虫展示会）	きすい会 環境ほたる会	自然環境を守り、きれいな川を取り戻すことによりホタルが蘇る。自然環境を維持していくことの大切さ、重要性を再認識するため、ほたるの一生を分かりやすくパネル展示すると共にほたるの幼虫展示会を開催した。また、市内小学校にてほたる観賞会、地元小学生、一般市民による幼虫放流会等を開催した。
環境リーダー養成塾	かがわ環境カウンセラー協議会	今年度は視点を変えて、星座や野鳥の観察、高松市有施設である「たかまつミライエ」の利用などを通じ、単なるお話ではなく、環境に関連する施設を使い、より親しみやすい「地球時間と人の暮らし」、「セカンドハンドとチャリティーショップ」などの講座を実施した。参加者が環境に親しみ、今後の環境問題を考えるきっかけとなることが期待できた。
身近な自然エネルギー活用実践塾	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	塩江町にある「モモの広場」及びその周辺を活用して、炭焼き体験や、再生可能な地域自然エネルギー（水力発電、太陽光発電、バイオマス発電）の実験を行い、「省エネルギー・省資源」「再生可能エネルギー」への理解を深め、持続可能社会への継続的な関心と、実践意欲のきっかけ作りの事業を実施した。